

## 1 火山防災対策を取り巻く状況・課題

## 島しょ火山

## 取り巻く状況

- ・伊豆大島・三宅島は数十年に一度の頻度で噴火
  - ・一度発生すれば、島外避難に直結
- 島民等の生命の安全を確保にむけた**避難体制の一層の強化**が喫緊の課題

## 現在地

火山噴火を想定した図上訓練（令和5年度）を初めて実施し、課題を洗い出し

## 現行計画の課題

- ・島民を確実に避難させることができるよう、噴火時の**タイムライン**に応じて各機関がとるべき**対応の手順の明確化が必要**
- ・避難のための交通アクセスが限られる中で、船舶等の**アセットを確実に調達**するため、関係機関との連携方法の具体化が必要

## 富士山噴火

## 取り巻く状況

- ・最後の噴火から約300年以上が経過
  - ・一度噴火すると都市機能への甚大な被害が想定
- **都市機能の早期回復**のための対策の具体化が重要

## 現在地

令和5年度「大規模噴火降灰対応指針」を公表し、都が行う降灰対策の方向性を明確化

## 現行計画の課題

- ・降灰対策に係る**各機関の役割分担や手順の明確化**が必要
- ・災害の**タイムライン**に応じて必要な情報を把握し、**降灰時特有の情報**を都民に確実に届ける**方策の具体化**が必要
- ・災害発生後の応急活動を支える**道路交通の確保**のため、**除灰体制（収集から運搬・処分まで）の整備**が必要

東京都地域防災計画 火山編を修正し、**都の火山防災対策の実効性を向上**

## 2 修正のポイント

島しょ火山  
対策

逃げ遅れる者が出ないように、**島外避難に係る対策を強化**

富士山噴火  
降灰対策

都市機能の早期回復に向けた**降灰対策の具体化**



共 通

- 自助・共助の取組を促す施策を推進
- タイムラインごとに各主体が行うべき取組みを明確化

## 3 取り組むべき主な対策例

島しょ地域における  
火山対策の強化

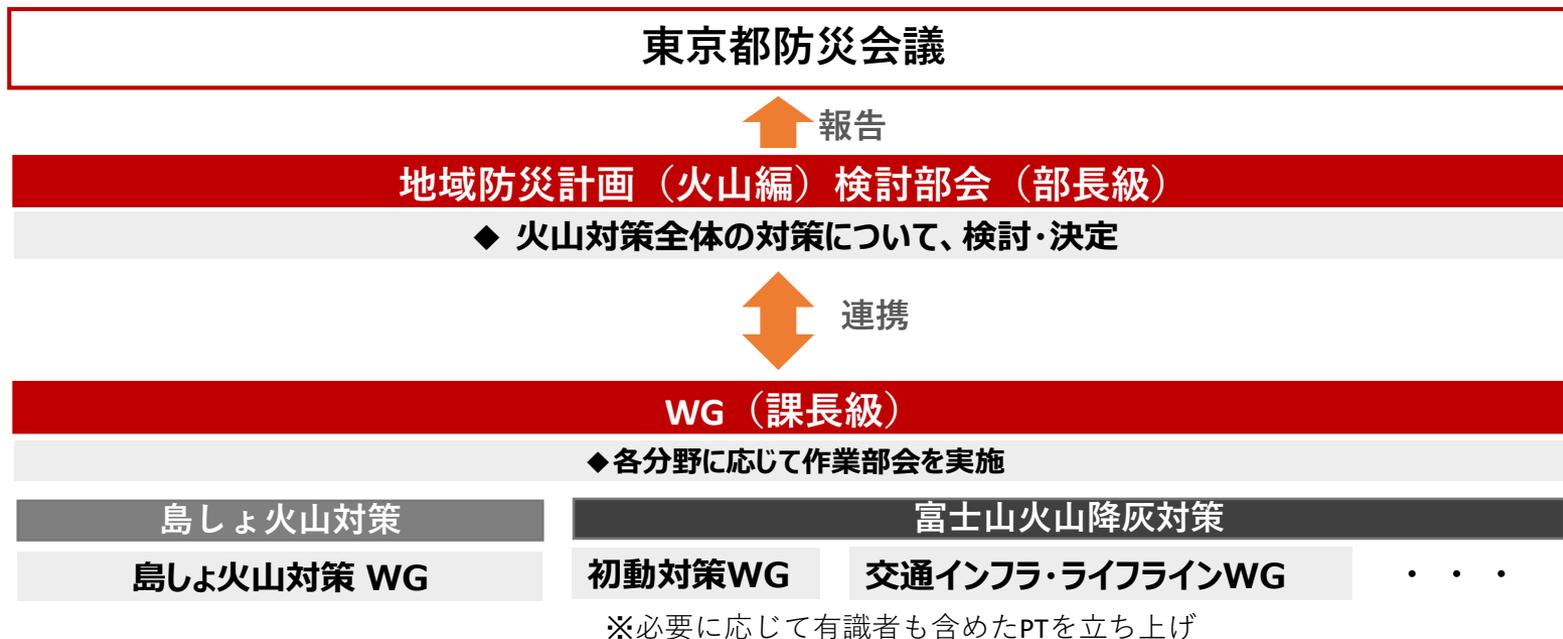
- ✓ 噴火警戒レベルに合わせた島外避難に係る各主体の役割や手順等の明確化
- ✓ 円滑な避難に向けたアセットの調達・運用や受入体制の強化
- ✓ 防災市民組織の活動の活性化や島民の防災意識の醸成 など

富士山噴火に係る  
降灰対策の具体化

- ✓ 予防及び発災から応急復旧に至るまでの降灰対策について、各主体の役割を明確化
- ✓ 降灰状況の的確な情報把握と、関係機関に共有する仕組みの確立
- ✓ 健康や交通機関など都民の安全に影響を及ぼす情報の発信内容と手段を整理
- ✓ 重要拠点をつなぐ優先除灰道路の選定や、資機材の確保のための連携体制の強化 など

## 4 修正に向けた実施体制

- 東京都防災会議の下に検討部会を設置し、各局・関係機関等で連携し、対策を検討



## 5 スケジュール（案）

- 令和7年1月下旬      東京都地域防災計画（火山編）修正素案 公表
- 令和7年度早期      東京都地域防災計画（火山編）修正 決定

▶ 計画の修正決定後は、各種対応マニュアル等の充実化、防災訓練等実施による内容の検証等を実施